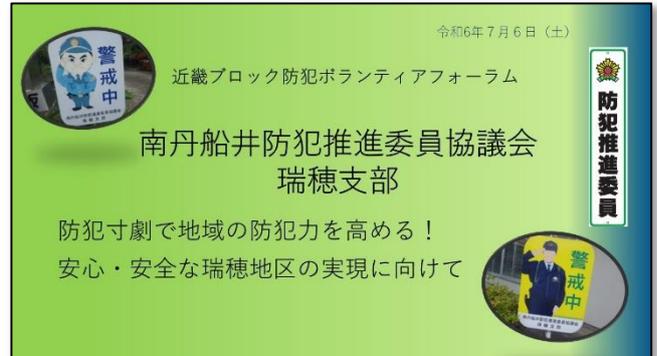


一部画像を加工・修正をして掲載している箇所があります

令和6年度 防犯ボランティアフォーラム 近畿ブロック 令和6年7月6日開催

## 南丹船井防犯推進委員協議会 瑞穂支部 (京都府)



私は京都府南丹船井防犯推進委員協議会瑞穂支部の山崎と申します。本日はこのような貴重な時間をいただき本当にありがとうございます。防犯寸劇で地域力を高めて安全安心な瑞穂地区の実現に向けてという内容で発表させていただきます。

### 1 わがまちの紹介～京都府 船井郡 京丹波町 瑞穂地区

- ◇ 京丹波町の成り立ち  
平成17年10月11日、丹波町、**瑞穂町**、和知町の3町が合併して誕生  
兵庫県丹波篠山市に隣接
- ◇ 環境  
京都府のほぼ中央部に位置し、豊かな緑と清らかな水が流れる自然豊かな環境  
京都縦貫道で京都市内から30分程度、大阪神戸から1時間程度の場所に位置
- ◇ 人口（瑞穂地区）  
1,849世帯 3,616人 ※令和6年5月末現在
- ◇ 特産物  
丹波ブランド（丹波栗、黒豆、丹波松茸、大黒本しめじ、丹波牛など  
※ 京丹波食のキャラクター「京丹波味夢くん」



はじめに、京丹波町瑞穂地区を紹介します。平成17年、丹波町、瑞穂町、和知町の3町が合併して京丹波町が誕生いたしました。京丹波町は京都府のほぼ中央部に位置し、水源は由良川となり日本海に流れています。ちなみに、南丹市の水源は保津川、淀川となり太平洋に流れています。京丹波町は食の町として黒豆による枝豆、丹波栗の生産に力を入れています。また、和菓子で有名な瑞穂大納言という小豆の栽培でも有名です。

## 2 南丹船井防犯推進委員協議会 瑞穂支部の紹介

### ◇ 南丹船井防犯推進委員協議会～7つの支部で構成

平成6年4月発足

南丹市：園部支部、八木支部、日吉支部、美山支部

京丹波町：丹波支部、**瑞穂支部**、和知支部

### ◇ 瑞穂支部

- ・支部長以下20人で活動
- ・青パト21台、支部員全員が青パト従事者として活動

### ◇ 活動方針

支部員一人一人が無理せず、楽しみながら長く取り組める活動を！

### ◇ 主な活動

- ① 小学校登下校時見守り活動
- ② 青色防犯パトロール活動
- ③ 防犯寸劇
- ④ 防犯資機材の製作



平成29年京都府知事から表彰されました

次に、南丹府内防犯推進委員協議会について紹介します。この協議会は、南丹市に4支部、京丹波町に3支部、合計7つの支部で構成されています。瑞穂支部は、平成6年4月に活動を開始しました。私は平成22年、今から14年前に近所の方から防犯推進委員の依頼を受け推進委員になりました。情けのない話ですが、その頃の支部は年1回、親睦を図るための交流会があるだけであり、一部の役員の方が活動しているに過ぎませんでした。大きく支部が転換期を迎えたのは新しいリーダーが誕生したこと、そして若返ったことでもあります。「皆で決めて、皆で行動する」を合言葉に制服、制帽等を揃えました。

委員は現在20名であり、全員が青色防犯パトロール従事者として活動しています。活動方針は「無理はしない、強制はしない、楽しみながら長く取り組める活動を展開する」です。日々の小学校の登下校見守りを中心に、毎月第4金曜日は青色防犯パトロールの日と決め瑞穂地域を重点に展開しています。また、老人会や地域の集会等からの防犯寸劇の要請があれば練習をして披露しております。

防犯活動の1つ目として、子どもの見守り活動を行っています。瑞穂地区の小学校の登下校の8割がバス通学で、通学のバス停を中心に見守り活動を行っています。私の住んでいる地域は歩いて通学を

しているため横断歩道での見守り活動を行っています。この活動も5年目を迎えましたが、12月になりますとサンタやトナカイになり横断歩道に立つようにしています。

また、農作業、畑作業、立ち話をしながら、何かをしながら子どもの見守り活動を展開すべく、子ども見守り中の横断旗を地域に配布し、なが

### 3 瑞穂支部の活動～その1 子供見守り活動

～小学校登下校時見守り活動（毎日）～

児童が利用する**通学バス乗り場、付近の横断歩道・交差点等**における見守り活動

※児童の8割がバス通学、バス停での見守り活動が主



※サントー山崎建男支部長



ら活動を地域全体で展開してもらっています。子どもたちにとっても、委員を身近に感じ安心につながる一役になればと思っています。

### 3 瑞穂支部の活動～その2 青色防犯パトロール活動

◇ 青パト活動開始 平成20年～

- ・管内の地形（山間部、面積広い、起伏が多い）から車両によるパトロールが有効
- ・支部員全員（20人）が自家用車を青パト登録・従事者として活動

～エピソード～

青パト活動を開始した当初は、青色回転灯を付けて走る青パトの住民の認知度は低かった。

住民の声・・・あれは、大型車の先導車両ですか？

- ◆ 各種イベントへの参加 青パトと一緒に
- ◆ 青パトで管内パトロール

現在・・・ 青パトの認知度向上

活動の2つ目は青色防犯パトロールです。瑞穂地区は山間部であり、面積も広く、また起伏も多いことから、車両によるパトロールが有効で、支部20名全員が登録し、パトロールを展開しています。活動を展開した当初は、「大型車両の先導車両ですか」とか「面白いものをつけて走っていますね」とか、色々言われました。しかし、日々の防犯活動の展開により、住民の認知度は向上し、現在は「ありがとう」や「ご苦労様」の声をかけていただくようになりました。

### 3 瑞穂支部の活動～その3 防犯寸劇について

#### ◇ 防犯寸劇（平成27年からの取組）

取り組みのきっかけ・・・駐在さんから、「一緒に防犯の寸劇をしてみないか。」と誘われた。

コロナ以前・・・月3回程度（年約30回）実施（老人会等から依頼を受けて実施）

#### 寸劇の状況



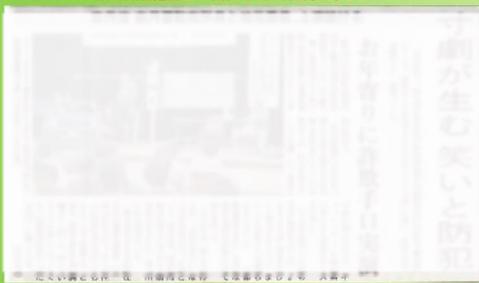
活動の3つ目は防犯寸劇です。寸劇のきっかけは駐在所さんからの声掛けでした。瑞穂の梅田地区にはさざんか劇団があり、年1回地域で活動をされていました。私達の防犯推進委員の中にも劇団員がいましたので、やろうと声が上ががり、有志で練習を始めました。最初は駐在さんを含め5名のスタートになりました。

コロナ以前は月3回、年間30回程度依頼を受けて実施しておりました。寸劇は主に、特殊詐欺をテーマに取り組んでいます。犯人が車に乗る前から始まり、車の中でも親分子分2人の犯人が地域の話題を入れながら、詐欺マニュアルや詐欺にかかりやすい顧客名簿を取り出し、オレオレ詐欺や銀行員を騙った還付金詐欺、役場の職員を騙った年金還付詐欺を計画していきます。

心の隅に防犯寸劇の一部でも残っていれば特殊詐欺の被害から身を守ることができる、との思いから冒頭にも見ていただきましたとおり、身近なギャグを取り入れながら地元の言葉で笑いあり、詐欺のテクニックありの上演を展開しております。また、劇の最後は参加者全員で若いお巡りさんの替え歌を歌い、約30分程度の寸劇ではありますが、特殊詐欺被害を呼びかけています。

### 3 瑞穂支部の活動～その3のつづき

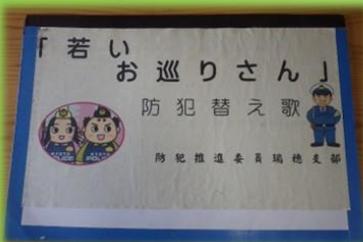
特殊詐欺被害防止の寸劇が新聞に掲載されました！



京都新聞の掲載や、地域のケーブルテレビへの出演があり、たくさんの住民の方に知っていただける機会になりました。また、京丹波町以外の方々にも活動を知っていただき、それぞれの地域の防犯活動の参考にさせていただければと思って、現在はやっています。

### 3 瑞穂支部の活動～その3のつづき 小道具について

～寸劇に使用する資機材の紹介～



これは寸劇に使用する小道具の一部です。犯人が使用する車や家具など、全て委員による手作り作品で、また若いお巡りさんの替え歌の歌詞も委員によるものでありレコード会社の承諾を得て作りました。

防犯寸劇については、コロナ禍以前のような依頼は現在はなく、活動回数が減ってきている状況です。今後の活動の取り組み方法等についての課題が今の問題となっております。

### 3 瑞穂支部の活動～その4 防犯資機材の製作



郵便局に設置



その他瑞穂支部が作成した防犯資機材は、現在、南丹警察署の協力のもと南丹船井地域のパトロール車、金融機関の玄関口に広く使用されています。

### 4 京丹波町防犯モデル地区の指定

#### 目的

京丹波町を犯罪や交通事故のない安全・安心な街とするため

#### 指定に至る経過は？

平成29年10月19日 京丹波安全・安心まちづくり協定締結（京丹波町・南丹警察署）

京丹波安全安心まちづくり協議会【京丹波町長（職員含む）＋南丹警察署長（署員含む）】で検討

⇒結果 青色防犯パトロール等の防犯活動に積極的な「瑞穂支部」支部の活動範囲に決定

#### モデル地区指定されて受けられる支援は？

防犯対策強化につながる活動に対する支援として、瑞穂支部の意見を反映した活動用資機材（横断幕やのぼり旗等）の提供など

最後に、京丹波町を犯罪や交通事故のない、安全安心な町にするために、平成 29 年、京丹波町と南丹警察署は京丹波安全・安心まちづくり協定を締結いたしました。

そして今年、京丹波町から南丹警察署との連携した取り組みとして、瑞穂支部の活動範囲が防犯モデル地域の選定を受けました。町内を走る国道に防犯カメラの設置や防犯モデル地域の横断幕、のぼり旗の購入に向けて尽力していただいているところであります。

防犯寸劇に従事している委員は少なくなり、現在 4 名となりました。仕事に従事しているものばかりであり、依頼者の希望に添えない場合が多くあります。今後は女性委員の加入を含め、寸劇だけでも参加したいという方の参画を検討しながら、活動の拡充に向けて取り組みたいと考えております。ご清聴ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。



京丹波町食のキャラクター

京丹波味夢くん

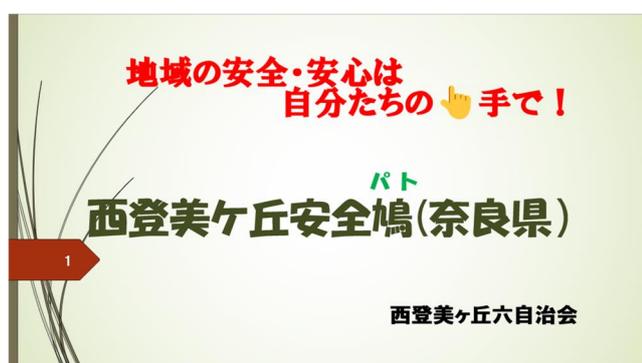
南丹船井防犯推進委員協議会  
瑞穂支部

## 西登美ヶ丘安全鳩（奈良県）

皆さんこんにちは、奈良県奈良市からやって参りました、西登美ヶ丘安全鳩（パト）と申します。鳩のハト、パトロールのパトを文字ってあえてここはルビをふって安全鳩（パト）と申しております。私はその事務局長をやっております池田です、よろしくお願いします。



私は 83 年程人間をやってきました。ところが、こういう席で話をするのは生まれて初めてでして、心臓がバクバクしており、たぶん血圧を測ると 250 から 300 はあるかと思います。いつ倒れてもおかしくないので保護者が一緒に来ております。山根と申します。私より偉い会長です。今日はよろしくお願いします。

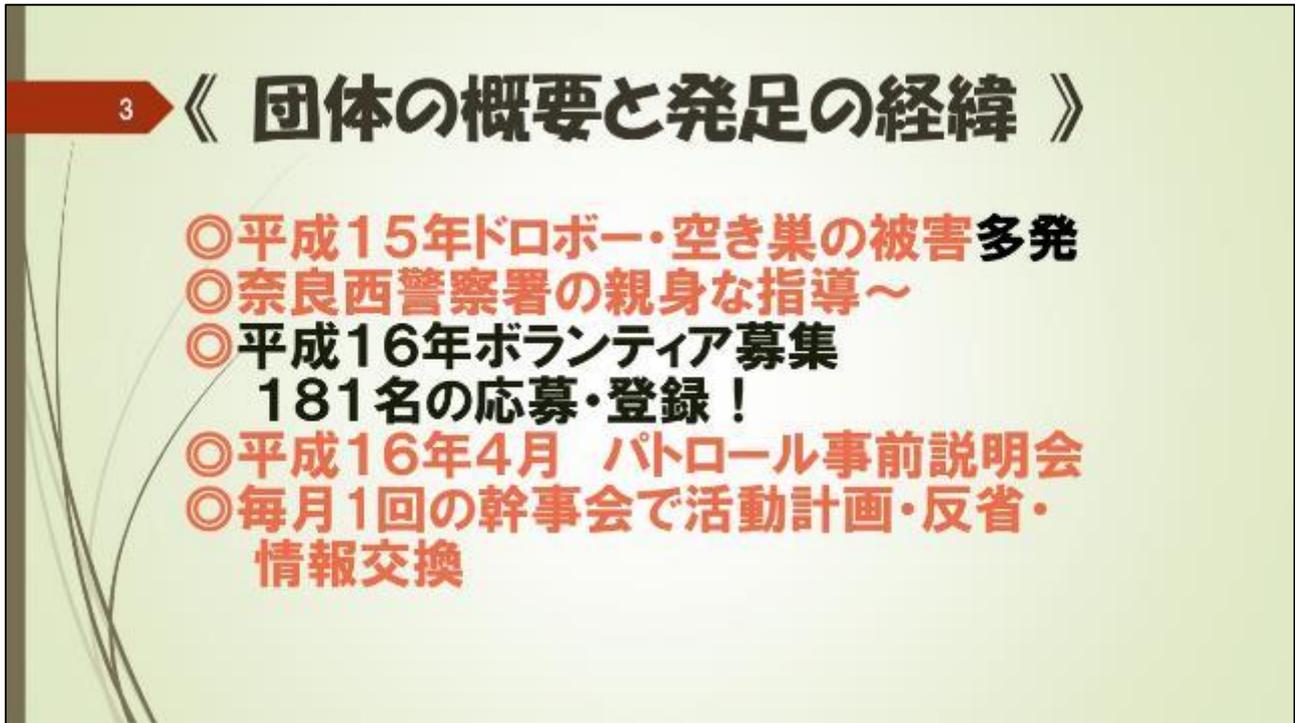


私達の地区は二名小学校区というところで、奈良県の北西部にあります。これは二つの名前と書いてニメイではなく「ニミョウ」と読みます、昔からの豪族がいたという話です。

これが郵便住居表示で奈良市西登美ヶ丘という表示になっております。ここは簡単にいうと GPS 的な言い方をすれば、北緯 34 度 42 分 28 秒、東経 135 度 44 分 00 秒、これだと世界中どこからでも 20~30m の誤差でピンポイントへそこに行きます。地球上からすると国境線は見えませんが、と言いましても始まりませんのでアナログ形式で地図から説明いたしましょう。

1 番右側が奈良県、南北に細長い県で北西の角にあるのが奈良市です。正確にはもう一つ西側に生駒市があり、そのさらに西に生駒山を挟んで大阪府大東市で、やや北に沿って四條畷市、そして上に京都府精華町、やや右側に木津川町という位置です。

そして奈良市は真ん中の地図です。奈良市の地図のさらに北西の角、今回北西がキーワードになります。この北西の角が我々安全鳩として活動する地域です。要するに二名小学校区の地域です。今から53年前に大手のディベロッパーが昔は雑木林だったのですが、開発したいいわゆる新興住宅地となっております。ここは交通機関でいうと近鉄電車学園前駅が最寄りの駅でして、大阪の地下鉄中央線から生駒で乗り換えてけいはんな線でも来ることができます、こういった地域で活動しています。



3 《 団体の概要と発足の経緯 》

- ◎平成15年ドロボー・空き巣の被害多発
- ◎奈良西警察署の親身な指導～
- ◎平成16年ボランティア募集  
181名の応募・登録！
- ◎平成16年4月 パトロール事前説明会
- ◎毎月1回の幹事会で活動計画・反省・  
情報交換

我々の二名地区のさらに北西の角、ここに今から20年前、平成15年頃に泥棒、空き巣が多発しました。これはいけないということで、今日もお見えですが、奈良県警奈良西署の皆さんが、我々の自治会に対して、防犯組織を作れないかとレクチャーがありました。当時自治会は6つに分かれておりまして、6人の自治会長がその話に応じて、何回かヒアリング、レクチャーを受けました。翌年の平成16年にボランティアの募集をしたところ、1100世帯に対して181名の募集が集まりました。この数字を多いと見るか少ないと見るかは、私では分かりませんが、奈良西署としては手応えを感じたのではないのでしょうか。

## 《 “安全 鳩” の出発式 》

平成16年4月27日・奈良日々新聞

六自治会は、奈良西警察署指導のもとに、  
平和の象徴・安全鳩（バト）を発足！！

シニア世帯・独居老人が大半を占め、空き巣・  
忍び込みなどの侵入窃盗を不安に思う住民が  
まとまった！

『自分達の街は、自分達の手で守る』意識の高  
い～息の長い活動を目指して頑張る！

**安心・安全な街作りの抑止効果  
になれば～**



そして、いよいよ発足式を行っていただきました。空き巣にたくさん入った所のすぐ近くの公園で発足式をいたしました。右の方に平成16年4月27日奈良日々新聞とありますが、当時20年前の自治会長から写真を見せていただきましたところ、奈良県警から8名偉い方が来られ、安全協会の方、自治会の方、子どもさんたち、皆様集まり大々的にやったのです。

右にありますのが当時の模様を写した20年前の『奈良日々新聞』の古い記事のコピーです、少し分かりにくいですが、粹な計らいで、我々の安全鳩の鳩にちなんで伝書鳩を100羽飛ばしたところ、皆さん感激していました。残念ながら、この時、私は入会していなかったのですが、奈良西署、我々が一体となって発足式を行なっていただきました。

# 《 いよいよ安全鳩始動 》

## 西登美ヶ丘住宅を巡回



セレモニーは済みましたのでいよいよ安全鳩の活動開始です。これは、月水金この3日間で定期的に住宅街を4つのコースに分けて、隙間なくルートを作ってパトロールをしました。大晦日と正月3日間だけは休みます。あとはお盆、クリスマス、祝日、祭日、学校の夏休みであろうが休みません。ただし雨の日のみは休みます。泥棒も雨の日は休むだろうと推測の下、雨の日は無理せず休みます。こういったことを繰り返しております。

写真の左側が現在私も着ておりますベストです。メッシュで出来ていて涼しいと思われませんが、意外と暑く、冬場向きです。右の方が襷掛けで歩いています。これは夏場向けでパトロールを開始しています。大体4コース隙間なく回ると30~40分くらいのコースで、万歩計で測ると5~6千歩というところですが、それから3ヶ月後の7月に私が入会致しました。

## 平成16年11月17日

鳩を飛ばしたセレモニーの後から7ヶ月後、平成16年11月17日とんでもない事件が起きました。高校生のみなさんはまだ生まれてなかったでしょう。うちの地区の二名小学校区の隣の校区、奈良市立富雄北小学校の1年生有山楓ちゃんが誘拐され、後日死体となって発見された誘拐殺人事件です。これは驚愕いたしました。犯人の小林何がしは翌月12月30日逮捕されました。裁判の結果死刑。そして、その刑も執行され犯人はもうこの世にはいません。

## 《 安全鳩の活動 II 》

防犯パトロールが主体で、住宅地域内を4コースに分けて～  
月・水・金曜日に定期的に実施



これを機会に各学校区では見守り隊がたくさんできたと聞いています。ただ我々のチームも後日入った方々は、これを知らないで、誘拐殺人事件が原因でチームが発足したと、しかしそうではなく我々はあくまでも空き巣、泥棒が原因で立ち上がったグループであると皆さんに伝えていきます。

いよいよ、安全鳩のメインの活動はパトロールです。そこでパトロール中に起きた色々なアクシデントなどのエピソードを話してみたいと思います。

1 つは、パトロール中に我々5~6 人で歩くのですが、後ろから変な 30~40 代の男が付いてくるのです。気味悪く「何かご用ですか」と聞いても返事もなくついてくる。仕方ないので 4 つのコースの合流地点にある公園で集合をするといつも間にかいなくなっていました。いまだに理由はわかりません。

もう 1 つは、1 月 4 日の正月明けだったと思います。パトロール中 4~5 人ほどで道路を占拠して歩いていて、軽自動車に来て住宅街の中でクラクションを鳴らし、「お前らは、道路交通法を知らんのか」と怒鳴られました。これはいけないと思い避けて、車は走り去ったのですが、別々の 3 つのコースの班にも同じ様にそれをしていました。さらに我々の元へもう一度来まして、「お前ら轢き殺すぞ」と言われ、ここまで来ては恫喝だと思い、仲間の 1 人がナンバーを控え、奈良西署に通報しました。警察署は「間違いなく承りました」、とのことでした。車のナンバーで所有者特定はすぐわかります。ただ所有者が法人の場合もあり、所有者イコール運転していた人とは限らないため、恫喝した人を特定するのは難しいので、現行犯ではないからとの回答かなと思います。

また、町を歩いていますと、老人が転んで怪我をしているケースがあります。その場合、パトを中断してその人を近所の家まで送り届けました。

それから、小学生の女の子が泣いているので「どうしたの」と聞いたところ、帰る家がわからなくなったようでした。名前を聞いて二名小学校にそれを連絡しましたが、そんな子は在籍していませんということでした。困っていたところ、再び、二名小学校から電話があり、隣の登美ヶ丘小学校の子で親御さんにも連絡がつき、迎えに行くまで待つて欲しいとのことでした。そこで、我々パトをする人は、近所の小学校ぐらいは入力すべきだという 1 つの教訓を得ました。

その他のことと致しましては、空き家のチェックです。そこに犯罪者の隠れ家となり得ますので、注意してパトロールしています。

## 《 安全鳩の活動 III 》

- ◎二名小学校1年生との『昔あそび』(サポート)
- ◎二名小学校2年生との『町たんけん』(課外活動)  
コロナ禍の為休止していたが、4年ぶり再開!
- ◎西登美ヶ丘六自治会主催の『夏まつり・花火大会』  
の警備協力



私たちの活動の第1は、防犯のためのパトロールでした。しかし、先ほど話しました誘拐殺人事件等の話で二名小学校の方からは、私たち安全鳩に対して協力の要請がありました。そちらは受けていたのていくつかここに書かせて頂きました。

そのうちの1つが「昔あそび」サポートと言います。この昔遊びは我々子どもの頃に遊びました、おじいちゃんおばあちゃんたちの遊びを、今の1年生の子ども達と一緒に遊ぼうというものです。種類は駒回し、けん玉、カルタ、お手玉、あやとり、羽根つき、だるま落とし等々です。

それから2番目は「町たんけん」です。今奈良市の小学校のカリキュラムとして、学校近くの町をたんけんしようという課外活動の1つなのです。コロナのために4年ほど休んでいましたが1月前に再開致しまして、我々も活動に参加させて頂きました。2年生の子どもたちは全部で65名です。それに比べ我が安全鳩のメンバーは28名、それに民生委員の方が7～8名加わり35名ほどになりまして、大人1人に対して子ども2人ぐらいの割合で、4～5人の子どもで1つの班で町を歩きます。危険を伴うためそれをサポートするのが役目です。びっくりしたのが担任の先生たちです。いずれも二名小学校に初めて赴任してきたばかりで、町たんけんを「安全鳩にお願いします」と一声かけると35人集まりまして、先生たちは非常に感謝されておりました。

3番目は、我々自治会の夏祭りの夜の警備です。花火がありましたので夜の警備をさせて頂きました。

9

## 《 安全鳩の活動 IV 》

防犯の幟旗や『○○に注意』  
等の啓発活動



活動の3つ目、地元の交番の協力です。1番左にみえますのは、「電話でお金の話、それは詐欺です」というものです。真ん中は声掛け・鍵かけ運動、こういったものです。1番右のものは地域の安全運動実施中というのぼり旗です。こののぼり旗は太陽の紫外線、雨風等により半年でボロボロになりますので、新しく変えなくてはなりません。

10

## 《 安全鳩の活動 V 》

危険な住宅内横断通学路



4つ目の見守り活動のケースです。ここは我が住宅地ですが、朝のラッシュ時に抜け道になる道路が1

つ交差しています。左上に表記のとおり時速 30 キロメートル制限になっていますね。住宅地の中ですから当然です。向こうも手前も 100 メートル以上の間隔があり見通しもいいので、やや坂道で下り坂のため情性的にスピードが出てきますし、向こうから登ってくる際もスピードが出ます。ここはオービスというのでしょうか、スピードの取締りを奈良西署の方々が時々やっていた場所です。その場所と子ども達の通学路が交差します。危ないので我々のうち 2 名ずつが当番制で立っております。ここで左側に見えておりますのは私ですが、ご覧のように道路のセンターラインギリギリに立っています。交通安全について私たちが教えられているのは、歩道の上か路側帯の内側から旗を出して止めてくださいと、このように指導されていますが、このような事では全然止まりません。

11

## 《 安全鳩の表彰 》

◎平成19年11月16日:感謝状 奈良市長 藤原 昭

◎平成20年10月8日:感謝状

奈良県警察本部 警視長 森田 幸典

財団法人奈良県防犯協会 会長 西口 廣宗

◎平成29年10月:近畿防犯功労団体

近畿管区警察局長 森田 幸典

近畿防犯協会連絡協議会 会長 池崎 守

◎令和5年9月28日

(公財)全国防犯協会連合会表彰(奈良県唯一)



一通り活動をやりまして、これは我々の 1 つの誇りとも言えますけど、安全鳩への表彰が過去 4 つございます。1 番上は奈良市長から表彰状を頂きました。2 番目は奈良県警察本部長からの表彰状です。3 番目は平成 29 年、今から 8 年前ですが、近畿管区警察局長さんからの表彰状を頂きました。右上の集合写真 25 人写っているのですが、この写真がその時の記念にということで近所の公民館で記念撮影を致しました。写真を見ますともうすでに 4 人の方が亡くなっております。9 人の方も足腰が立たないのでパトロールには参加されていません。この頃から我々の将来が非常に危機的な状況であるということが見えてきております。そして、嬉しい話が 1 番下赤字で書かれている去年の令和 5 年 9 月 28 日全国表彰を頂きまして、公益財団法人全国防犯協会連合会表彰を頂戴しました。横にいます山根が東京まで出向き、表彰を受けました。ありがたいことでございました。

## 《 20年間を顧みて 》

### 高いモラルの住民に感謝 無理せず 強かず 時世に照らし 規則も改訂 メンバーの “和”

いよいよおしまいになってきました。20年間を顧みて、なぜ20年間も続いたのかと、自画自賛で申し訳ないのですが、ひと言でいうと高いモラルの住民が大勢住んでいたということだと思います。具体的に言うと無理をしない、強制しない、雨が降ったらやめる、都合のいい時に出てくる、こういった方法で続くのかと、続くのです。人が集まるのです。半年ぶりに顔を見せてくれる方もいます。よく生きていたなという調子で、実際問題は強制しない方が人が集まるなと思います。

2番目は、時世に合わせてルールを改訂しています。20年間に我が会則も7回改訂いたしました。こういったことは必要じゃないかと思います。

3番目が、毎月、定例会を開きまして、1ヶ月間にあった問題点を提議して、次に向けて改善していきます。これを20年間続けており、20年間というと240ヶ月毎月です。実はその会議議事録がこれほどあります。100%完璧ではございませんが、この中に先ほどの話したエピソードの一部は私が体験したものではありません。この資料の中からいくつかをピックアップしたのを私が話しましたが、この貴重さは今後のために必要じゃないかと、我々は自負しています。

4番目、パトロールを通じてメンバーの輪を保つこと、「和を以って貴しとなす」という聖徳太子さんの教えを実行しています。

先日、久々に懇親会を開きました。大体パトロールは常時20名前後集まるのですが、その時だけは50名も集まりました。この時にお酒が加わりますと力が湧いてきて、AIはお酒を飲まないのだからこういった事は理解してくれるかどうかは分かりませんが、そういった事でメンバーの輪を大切にしています。ここには書いていませんが、これが究極の私たちの誇りですが、現在パトロールしている方の中になんと94歳。その下に90歳。あとは80代の方がゴロゴロといます。私は冒頭に83歳と言いましたが、まだ若造です。こういった方がいることが我々の誇りと思います。

## 《 安全鳩のSDGs 》

- 👉 次世代にバトンタッチ  
参加したくなるムード作り
- 👉 目に見えるパトロールで  
安全意識を高める

いよいよおしまいになります。安全鳩の SDGs、今風の様な言い方ですが、如何にして次世代にバトンタッチするか、これは長年の昔からの永遠のテーマです。答えは正直見つかっておりません。それには健康なうちに目に見えるパトロールを行って、それを見て参加したくなる様なムードを作る以外にないと、それを持って安全意識を高める。それと自治会においては大体半年に1回募集のチラシを配って募集をしています。2、3人ほどは新しく入り、新陳代謝を深めております。

## 《 総合力で防犯意識を高める！ 》

地域の結束力・地域パワーで安心安全な街に！

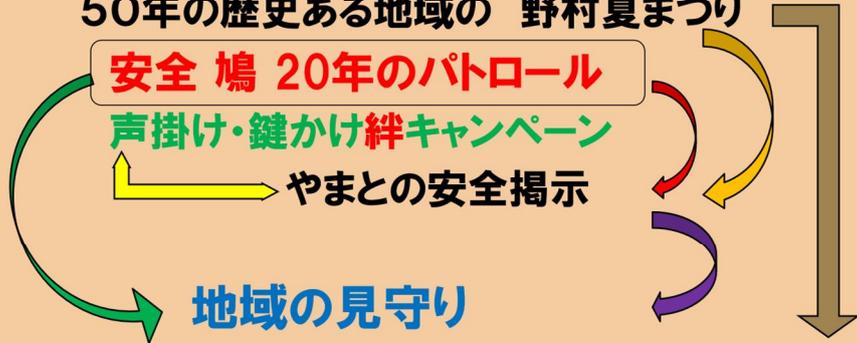
50年の歴史ある地域の 野村夏まつり

安全 鳩 20年のパトロール

声掛け・鍵かけ絆キャンペーン

やまとの安全掲示

地域の見守り



色々とお話しましたが、それを集約したのが総合力で防犯意識を高める、これしかありません。我々は後期高齢者ばかりになっているメンバーです。命のある限り地域社会のために、自分の健康のためでもあります。活動をしていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

## 終わりに

西登美ヶ丘六自治会

犯罪ゼロを  
目指して  
チャレンジ！！



## 早稲田摂陵高等学校ボランティア部（大阪府）



皆さんこんにちは。早稲田摂陵3年生の桂木と2年生の伊藤で今日はやっていきたいと思います。先ほどのお言葉をお借りしますと、私は17年しか人間をやっていませんので、非常に緊張しますが、精いっぱいやろうと思いますので、応援をお願いします。

2024年7月6日（土）  
近畿ブロック防犯ボランティアフォーラム

大阪府代表

### 早稲田摂陵高等学校 ボランティア部



発表者：伊藤 美莉  
桂木 勝利



### 目次

1. 早稲田摂陵高校・ボランティア部の紹介
2. 活動内容
3. 今後の取り組み



本日は、早稲田摂陵高校とボランティア部について、また活動内容、今後の取り組みについてお話しさせて頂きたいと思います。まずは早稲田摂陵高校とボランティア部についてお話しさせて頂きます。

## 早稲田摂陵高等学校 ボランティア部紹介



### 早稲田摂陵高校

- ❖ 大阪府茨木市宿久庄にある私立高校
- ❖ 早稲田大学の系属校
- ❖ 創立62年の伝統ある高校



早稲田摂陵高校では、大阪府の北摂の茨木市宿久庄と言う場所にございまして、62年の伝統ある学校です。校名に早稲田とついているとおり、早稲田大学の継続校となっています。

### ボランティア部の紹介

- ❖ 部員：約50名
- ❖ 平成29年に設立→廃部寸前
- ❖ 令和4年に有志が募り、令和5年より再始動



### 主な取り組み

- ❖ 竹を用いた「竹灯籠づくり」ワークショップ
- ❖ 近隣小学校の夏祭りの出店
- ❖ 豊川小学校の放課後教室の企画・運営
- ❖ 地域のイベントのお手伝い



様々な活動の実施



続いて、ボランティア部を紹介いたします。現在ボランティア部は50名の部員を抱えており、日々活動に取り組んでいます。ボランティア部は、平成29年に設立したのですが、なかなか部員が集まらず活動も停滞して廃部寸前まで陥りましたが、早稲田大学の学生さんたちに来て頂いて、ボランティアについての講義をしていただける機会がありました。そういった行事をきっかけに、自分たちもぜひボランティアをやりたいという人が集まり、ボランティア部が再び活動できる状態となり、令和5年度より新生ボランティア部として再始動いたしました。

主な取り組みとしては、近隣の竹林の環境を守るために間伐のお手伝い、切り出した竹を使用した竹細工を作るワークショップのお手伝い、近隣の小学校の放課後教室に出向き、その企画、運営のお手伝いをさせていただいています。また、夏祭りなどの地域イベントのお手伝いなどにも取り組んでいます。

### 活動場所

- ❖ 大阪府茨木市を中心に活動  
【例】能登半島大地震募金（JR茨木駅・阪急茨木市駅）
- ❖ 活動によっては、他の市町村でも活動  
【例】刀根山支援学校との交流



活動場所は、主に学校がある北摂の茨木市を中心に行っておりまして、1月に起こった未曾有の災害の能登半島地震の際には、JR茨木駅、阪急茨木市駅に出向いて募金活動を行いました。募金は1ヶ月行いました。活動内容によっては、他の市町村に行き様々な活動をしています。

## 活動内容



ここからは、防犯ボランティアフォーラムということで地域の安全安心に貢献している活動について3つ発表させていただきます。1つ目の活動は「桃太郎大作戦」という活動です。「桃太郎大作戦」とは、鬼退治に行くかの如くのぼり旗を掲げ、隊列を組み、特殊詐欺が多発する地域に潜入し、特殊詐欺の卑劣な手口、手法を拡声器や肉声で力の限り広報する活動です。

### 活動を始めたきっかけ



### 社会問題

#### ◆ 特殊詐欺の手口

1. オレオレ詐欺
2. 還付金詐欺
3. キャッシュカード詐欺 など



高齢者の被害がすごく多い！

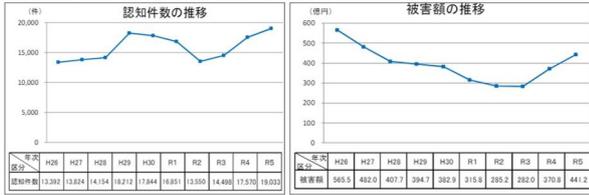
この活動は、特殊詐欺の被害件数の増加を危惧した茨木警察署から協力依頼があったことがきっかけで始まった活動です。特殊詐欺とは様々な手口を用いて、相手の信頼を得て不特定多数の人から金銭を騙し取る犯罪を指します。特殊詐欺の手口として、主に3つの手口があると教えていただきました。

1つ目は親族、警察官、弁護士などになりすまして被害者から金銭を騙し取るオレオレ詐欺。2つ目は国や市の職員、警察官などになりすまして還付金や補助金を受け取れると騙して、預金や銀行口座情報を抜き取ろうとする還付金詐欺。3つ目は郵便局員や銀行員、カード会社の職員を名乗りキャッシュカードの暗証番号などの情報を抜き取ろうとするキャッシュカード詐欺です。他にも、電気会社を名乗り電気を止めると言うことで金銭を奪い取る手口もあった様です。

## 社会問題

### ◆全国的に特殊詐欺の件数が多発

警察庁組織犯罪対策二課  
生活安全企画課



## 社会問題

〔大阪府（茨木市）においても〕

◆令和4年 特殊詐欺発生状況 2,064件(51件)

◆令和5年 特殊詐欺発生状況 2,649件(129件)

大阪府警察

令和5年6月2日～7月31日「茨木特殊詐欺多発警報」  
特殊詐欺被害防止自動通話録音機の無償貸し出し

これらの手口を用いて金銭を騙し取る被害は、全国的に年々増加の一途を辿っています。これは社会問題の一つでありスライドのグラフのとおり認知件数、被害総額ともに右肩上がりで増えています。大阪府においても同様に、令和4年に2064件、令和5年には2649件報告されています。茨木市でも令和4年に51件、令和5年は129件も報告されており、様々な対策が取られています。

私たちボランティア部も特殊詐欺被害防止キャンペーンに参加させていただきました。このような状況に対して、私達は以下の様な活動を展開しました。

## 活動内容①

- ◆ 特殊詐欺の手口・手法を広める
- ◆ 特殊詐欺の注意喚起をする
- ◆ 特殊詐欺防止広告の入ったティッシュ配り
- ◆ パトロールカードの投函



## 活動内容②

◆ 活動日時・場所・参加人数(8月～11月)

8月18日	玉櫛地域	5名
9月2日	阪急茨木市駅	5名
9月9日	山手台地域	4名
9月30日	阪急茨木市駅	5名
10月28日	指名手配被疑者捜査強化月間	4名
11月11日	山手台地域	2名
11月18日	山手台地域	8名



合計7回 延べ33名の参加

主軸は広報活動に置いています。特殊詐欺の認知件数、被害にあっている方が多い地域を練り歩き、拡声器を持って詐欺の手口や手法を宣伝しながら注意喚起を行いました。合わせて詐欺の注意喚起の広告が入ったティッシュペーパーを配布したり、警察官が巡回したことをお知らせするパトロールカードを各家庭の郵便受けに投函したりしました。この活動には、茨木市内でも特に認知件数の多い地域で計7回、延べ33名が関わりました。その内1回は、日程が指名手配被疑者捜査月間と重なったため、指名手配書を配布する活動も行いました。それでは活動を記録した動画をご覧ください。



「こちらは、茨木警察署と早稲田摂陵高校の防犯桃太郎です。現在この地域は、特殊詐欺グループに狙われています。最近、関西電力や日本電気協会を名乗る自動音声の電話がかかってきませんか。電気料金が未納です、2時間後に電気を止めます。状況を知りたい方は次の番号を押してください、という電話がかかってきませんか。ガイダンスに従って番号を押すと偽の職員や偽の警察官に繋がって騙されます。自動音声で電気を止めることはありません。こんな電話はすぐに切って警察に通報してください。」

このような活動を行ってきましたが、果たして私たちの活動は特殊詐欺撲滅に対してどのような効果があったのか見ていきたいと思えます。

# 地域の安全安心

## ❖ 令和5年 茨木市特殊詐欺発生状況

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
13	15	11	9	11	9	6	10

減少傾向

大阪府警

## ❖ 活動を通して、すごく注目を浴びたように感じた

高校生の活動は目立つ！警察官だけとは大違い！



こちらの表をご覧ください。こちらは茨木市の特殊詐欺の発生件数を表したものです。私たちが活動を行ったのは、この表で黄色く塗り潰された期間になります。この4ヶ月間は前後の期間に比べ発生件数は緩やかな減少傾向が見られます。これは私たちの活動が一助となった成果だと考えています。また、私たちの活動が2回もニュースに取り上げられたことや、動画を見てもらったとおり、私たちの活動はすごく目立つので特殊詐欺を認知してくれた方は多かったのではないのでしょうか。私たちの活動によって特殊詐欺について認知し、様々な人が、特殊詐欺に気をつけていこうと意識を持ってくれた事も一因ではないのでしょうか。また、活動を共にした警察署の担当の方からは、「高校生と一緒に活動は警察官だけの時よりも目立つ事ができた」と感謝の言葉をいただきました。私たちが考える以上に、高校生の力は様々な人に影響を与えるのだと実感しました。この活動が認められて茨木警察署より感謝状をいただきました。

## 特殊詐欺に遭わないように

- ❖ 知らない電話に出ない！
- ❖ 少しでも不審に感じたら、家族やまわりの人に相談！
- ❖ A T Mで電話はしない
- ❖ A T Mで電話をさせない

警察相談専用電話「#9110」  
消費者ホットライン「188」

これ以上特殊詐欺の被害者を増やさないために是非会場にいる人に覚えてほしいと思います。特殊詐欺に遭わないために気をつけて欲しいポイントを紹介します。

1. 知らない電話に出ない。
2. 少しでも不審に感じたら家族や周りの人に相談。
3. A T Mで電話はしない。
4. A T Mで電話をさせない。

少しでもこの様な知識があると、どこかで不審に思い、些細な引っ掛かりが警戒心を生み被害を未然に防ぐことにつながります。まずは知ってもらう事が大切です。会場の皆様も是非お家に帰った時、おじいちゃんやおばあちゃんなど周りの方に伝えてあげてください。



### 活動内容

- ❖ 本校がある彩都地区にて清掃活動を実施
- ❖ テスト期間の最終日の午後
- ❖ 部員だけでなく有志を募集



昨年度より計7回実施

次に2つ目の活動を紹介합니다。彩都の町の清掃活動についてです。

彩都の街清掃活動は、その名前のとおり本校がある彩都地区にて清掃活動を行う事です。テスト期間の最終日の午後に必ず行われ、彩都地区の美化に努めています。ボランティア部員だけではなく、学校

全体を巻き込み有志を募って、みんなで彩都の町を綺麗にしていこうという取り組みです。この活動がどの様に地域の安全安心に貢献しているかを考えました。

### 地域の安全安心

◆ 近隣の小学校の下校時間に合わせている



挨拶と見守り兼ねて清掃活動を実施

### 地域の安全安心

◆ 清掃活動を通して、地域の環境作り  
割れ窓理論



犯罪率UP
治安の維持

まず実施時間ですが、近隣の小学校の下校時間に合わせており、子ども達への挨拶や見守りも併せて実施しています。そうすることで、子ども達が安全に下校できるような環境を作り、地域の方々が安心して生活していただけるような雰囲気を作るという事を心がけています。

ここで「割れ窓理論」という話がございまして、ジョージ・ケリングという方が提唱した話なのですが、社会において割れた窓が放置されていますと、誰もその地域に関心がない、つまり誰も注意を払っていない象徴になり、それに伴い住民のモラルが低下し、防犯活動に協力してもらえなくなるという様なことがあり、そうすることで凶悪犯罪の犯罪率が上昇してしまうという理論があります。

これは我々がやっているような清掃活動であったり、軽犯罪の摘発であったり、そういった事で治安を改善したり維持することができます。身近な例として分かり易いのが、東京ディズニーランドです。千葉にあるお馴染みの東京ディズニーランドの例をあげようと思うのですが、東京ディズニーランドはすごく綺麗ですよね。東京ディズニーランドが綺麗な秘訣は、汚れる前に掃除をする事だそうです。人は床が綺麗であったり環境が綺麗であったりすると、物を捨てたり汚したりするのを躊躇する心理が働きます。それによって綺麗に保つ事ができる、つまりは私達の活動は町を綺麗に保つだけではなく、犯罪を未然に防いで、地域の安全安心に貢献するという重要な役割を果たしていると考えます。そうして綺麗に保つ事によって、モラルの向上に繋がって、安全安心な場所づくりになると言うわけです。



3. 春日丘公民館子ども食堂

### 活動内容

◆ 春日丘公民館「子ども食堂かすがおか」

1. 料理のお手伝い・配膳
2. 子どもたちと遊ぶ



次に最後の活動です。春日丘公民館子ども食堂の活動について説明をしようと思います。子ども食堂

は、子どもたちに食事を提供する事で、子どもたちの居場所を作り、夜間に子どもたちが犯罪に巻き込まれるリスクを低減することができます。

そんな子ども食堂へボランティア部として参加する事になったきっかけは、茨木市の市議会議員さんより声をかけられたことでした。私たちも活動の幅を広げようと考えていた時にそのお誘いを受け、我々も是非やりたいということで参加させていただきました。活動内容としては調理や配膳のお手伝い、子どもたちと縄跳びとかお手玉といった昔遊びをして一緒に過ごすというような活動を行っています。

### 活動を振り返って

- ◆子ども達が夜間に犯罪に巻き込まれるリスクの低減
- ◆スタッフの皆さんへ特殊詐欺の注意喚起



### 地域の安全安心

- ◆子ども達の安全な居場所づくりに貢献
- ◆つぎの世代を担う子ども達へ防犯意識を継承



地域の交流場所の環境づくりに貢献



子どもたちは歳の近い我々が行くことでとても喜んでくれました。活動を重ねていくうちに子どもたちからも積極的に我々に話しかけてくれるようになり、たくさんの交流が生まれています。そこで我々は、子どもたちの憩いの場や交流の場を提供できていると思います。またスタッフの方々は、年配の方が多く、我々高校生のパワーを提供することですごく喜んでいただきました。

夜間の犯罪に巻き込まれる子どもたちが1人でも減ることを願って活動をしています。また、我々の活動を通じて、子ども食堂に参加している子どもたちが、将来高校生になったり、大人になった時に、バトンを引き継ぐ、ボランティアをしたいと思ってくれることで、ボランティアの輪・防犯の輪を広げていけるように願っています。

## 活動を振り返ると・・・

# 地域の安全安心に貢献



以上3つの活動について振り返ると、地域の安全安心に貢献することができたと感じました。犯罪を抑止するためには、地域の目を増やして犯罪を行いにくい環境にすることが何よりも大切だと思っています。地域の方とともに、地域の雰囲気づくりをして学校を飛び出し、我々の手によって、そういった雰囲気をつくっていくことが大切です。人の目があるだけで、犯罪は抑制され、不審者の行動を抑止することができます。先ほどお話ししました「割れ窓理論」のように地域の治安を守るために綺麗に保つことや、下校時間に合わせて活動することなど、私達が社会に出て活動することで、地域の犯罪率を下げ、地域の安心安全な環境作りに貢献できていると考えます。

皆さんも是非、些細なことから始めてみてはいかがでしょうか。例えば、犬を飼ってらっしゃる方は犬の散歩であったり、買い物を通学時間に合わせてみたり、何か用事があって出かける時に通学路を通ってみるであったり、そういったほんの僅かなことで地域の目を増やすことが出来ます。そして我々も高校生の溢れるパワーで、周りの人を動かし、社会がより良い方向に向かっていけるようにできる事を全力で取り組んでまいります。

### 3. 今後の取り組み



#### 今後の取り組みの基本理念

1. 活動範囲を広げる  
→ 「YES」の気持ちで活動！
2. 活動の認知度を上げる  
→ SNS、HPの利用で周知活動！

最後に、今後のボランティア部の取り組みについて話そうと思います。1つ目は活動範囲を広げること。2つ目は活動の認知度を上げることです。それぞれの解決策として「YES」の気持ちで活動すること。SNSやホームページの利用で周知活動を行うことを考えています。

<h3>1. 「YES」の気持ちで活動</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>❖ 活動を通して、様々な方との繋がりができた！</li><li>❖ 繋がりが「人」を呼び、様々な活動の誘いが・・・</li></ul>  <p>活動範囲を広げることにつながる！</p>	<h3>2. SNS、HPの利用で周知活動！</h3>  <p>Instagram QRコード</p>  <p>HP QRコード</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1つ目、色々な活動を通じて様々な方との繋がりが新たなきっかけを呼び様々な活動のお誘いが来るようになりました。そこで我々は、受けた依頼をできる限り引き受けようと「YES」の精神を基に活動をしています。2つ目、SNS やホームページを積極的に活用して広報活動を行なっています。左側は公式Instagramの QR コード、右側はボランティア部ホームページの QRコードとなっています。少し時間を取りますので我々の活動を是非ご覧になってください。是非皆さんスマホをかざしていただいて、活動をのぞいていただければと思います。

<h3>まとめ</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>❖ 活動範囲・内容を増やし、さらに社会貢献</li><li>❖ 活動を振り返り、<ol style="list-style-type: none"><li>1. 社会にどのように貢献しているか</li><li>2. どのような学びがあるのか</li></ol>を考える</li></ul>  	<h3>ご清聴 ありがとうございました！</h3>  
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

私たちボランティア部は、活動範囲、活動内容を増やし、更なる社会貢献に努め、また、その活動を振り返り、どのように社会に貢献できているのか、どんな学びがあったのかを考え防犯にも力を入れていきたいと思っています。

今回ボランティアフォーラムで発表させていただく機会をいただき、私たちのボランティア活動について振り返り、どのような効果があったのか、そしてどのような学びがあったのかを考えるすごく良いきっかけになりました。自分たちで活動をして完結するのではなく、こうした場所やイベントで私たちの活動を外部に周知することの重要性も改めて感じさせていただきました。最後にこのような機会を与えてくださった警察関係者の皆様、並びにこの活動を支援して下さる先生方に感謝して、この場を締め括らせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

## 学生防犯ボランティア「ブルーフェニックス隊」（兵庫県）



皆さんこんにちは、私たちは兵庫県学生防犯ボランティアブルーフェニックス隊の村上舞と西尾勇樹です。よろしくお願いします。



本日は、私達の活動内容についてご紹介させていただきます。私達兵庫県学生防犯ボランティアブルーフェニックス隊は、若者の柔軟な発想や活発な行動力を活かして、被害防止活動の活性化を図ることを目的とし、令和5年6月24日に発足しました。



兵庫県内に在学又は居住する大学生、専門学校生のうち事前講習を受けた学生を対象としており、令和5年度は168名が登録されています。活動回数は63回で延べ620名が参加しました。私たちは、防犯ボランティア活動を通じて身近な犯罪を防止し、兵庫県民が安心安全に暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的として活動を行っています。

このブルーフェニックス隊の名称は、兵庫県のイメージカラーであるブルーと、この活動が不死鳥（フェニックス）のようにずっと続いて欲しいという願いから学生による投票によって名付けられました。

## 活動内容

- 1 防犯パトロール活動
- 2 特殊詐欺等の犯罪被害防止を目的とした  
広報啓発活動
- 3 防犯イベントへの参加
- 4 防犯動画やポスター等の制作
- 5 SNSを活用した情報発信

次に私達の活動内容をご紹介します。私たちは警察本部、警察署、防犯協会、自治会、地元の防犯ボランティア団体等と連携し、主に5つの活動を行っています。1つ目が防犯パトロール活動、2つ目が特殊詐欺等の犯罪被害の防止を目的とした広報啓発活動、3つ目が防犯イベントへの参加、4つ目が防犯動画やポスター等の制作、5つ目がSNSを活用した情報発信です。

# 啓発キャンペーン



## 110番の日



最初に私たちが行っている犯罪被害啓発キャンペーンをご紹介します。こちらは1月10日にデュオこっぺで行われた110番の日キャンペーンです。この日は来てくださった方々に防犯グッズやチラシの配布を行ったり、小さなお子様や家族連れに向けた防犯缶バッジの作成を行ったりして、特殊詐欺被害の啓発活動に取り組みました。兵庫県警察音楽隊の方々の演奏もあり、私たち自身も楽しみながら活動を行うことが出来ました。

## 西宮ガーデンズ



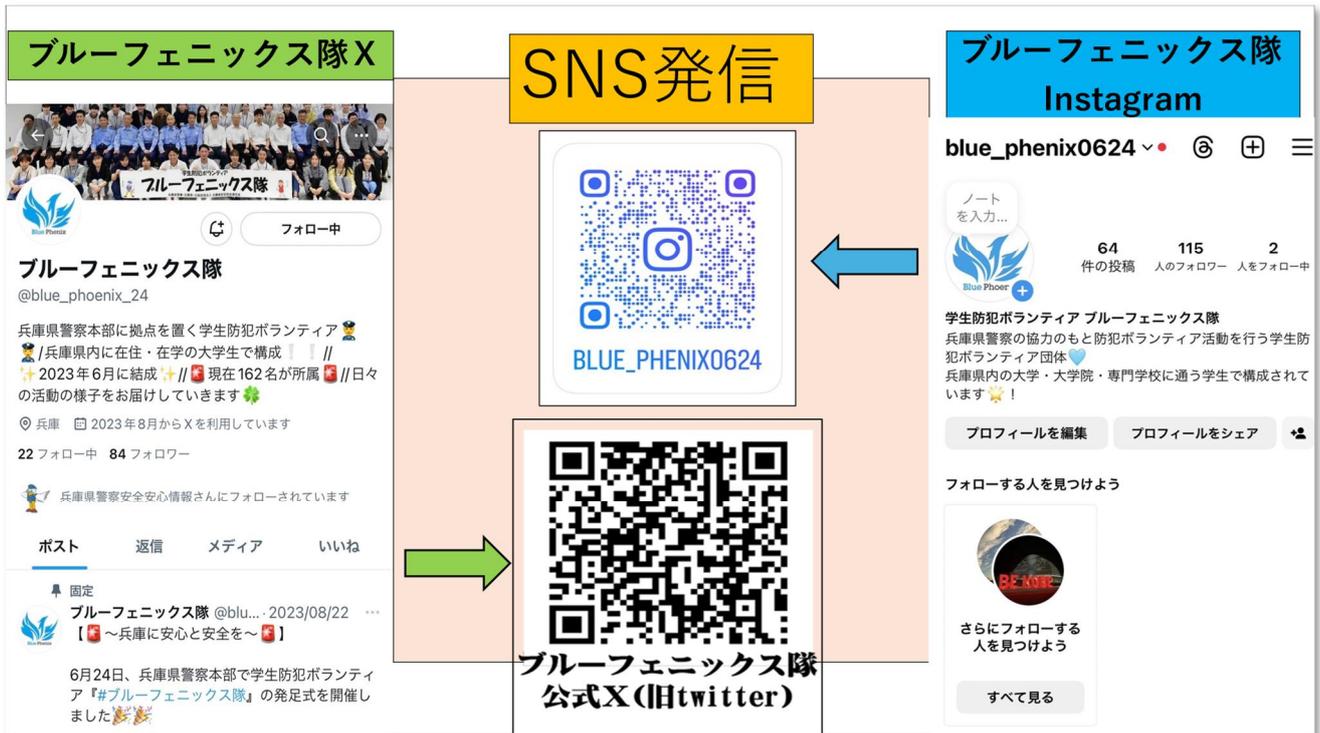
## 車上ねらい被害防止 キャンペーン

次にこちらは、2月28日に西宮ガーデンズで行われた車上ねらい被害防止キャンペーンです。兵庫県警のマスコットであるまもりちゃん、こうへんくんも来てくれて、小さなお子様にも大人気のイベントとなりました。また、アニメ「響けユーフォニアム」とのコラボポスターも用いて、たくさんの方々に車上ねらいの被害防止の啓発活動を行いました。



## 姫路リバーシティ 啓発キャンペーン

こちらは、4月10日に姫路リバーシティで行われた啓発キャンペーンです。この日は白バイの乗車体験や子ども免許の作成イベントがあり、小さなお子様からお年寄りの方々まで、たくさんの方々に防犯ネットの加入や特殊詐欺対策、交通マナーの向上について呼びかけることが出来ました。このように警察本部、警察署、防犯協会、自治会、地元の防犯ボランティア団体等と連携し、警察官や地域の方と一緒にイベント会場や繁華街、商業施設など様々なところで啓発キャンペーンを行い、犯罪被害の防止を促進しています。



次に、ブルーフェニックス隊のSNS発信について紹介いたします。私たちは、InstagramとX（旧ツイッター）を運営しており日頃の活動報告などの情報発信を行なっています。中でもInstagramでは学生主体で作成した啓発動画を掲載しています。



スライドの右側をご覧ください、こちらは還付金詐欺の手口の流れを説明した動画になります。還付金

詐欺について知らないという人が多いということから、まずは還付金詐欺の流れについて知ってもらおうという思いのもと制作しました。スライドの真ん中は学生が作成した架空料金詐欺対策の啓発ソングです。私は大丈夫と思い込み、被害に遭ってしまう方がたくさんいらっしゃるため、歌を通して詐欺の啓発活動を行いました。スライドの左側は、防犯機能付き録音機の設置促進動画です。還付金詐欺のほとんどは固定電話機から発生しているということから、固定電話機に取り付けるタイプの防犯録音機器を広め、還付金詐欺啓発への取り組みを行なっています。このほかにも様々な啓発動画、情報発信を行なっておりますので是非ブルーフェニックス隊インスタグラム、X（旧ツイッター）をフォローの上ご覧ください。



続きまして、ふれパトの紹介に移らせていただきたいと思います。ふれパトとはランニングをしながらすれ違う方々、市民の皆様に対して声掛け、防犯活動を行うことをふれパトと言います。これは実際の写真なのですが、学生ボランティア数名と警察官と一緒に活動を行っています。



主な活動場所はB E K O B Eモニュメントのあるメリケンパークや神社、北野異人館、ビーナスブリッジなど、比較的たくさん人がいらっしゃるような場所で活動をしています。こちらは、先輩方がおっしゃっていたとおり楽しく活動できる防犯活動をとっていきまして、僕が個人的に1番好きな防犯活動になっています。実際に参加した学生の声を紹介させていただきますと、「今回参加して楽しかった。次も参加したい。」という学生がたくさんいらっしゃいます。そして、「ながら見守り」というものがあり、大学にいきながらちょっと周りを見てみる、買い物をしながらちょっと周りを見てみる、そういったことが繋がっていくのがふれパトなのかなと思っています。



次に、学生授業になります。こちらが甲南大学という大学で、闇バイトの啓発活動を行った授業の実際の写真になります。



次に、兵庫県内の鈴原小学校というところで「いかのおすし」、いかない、のらない、おおごえをだす、すぐにげる、しらせる、の「いかのおすし」に関する啓発の授業を行ったりしました。

## これからの課題

- 活動場所に偏り（姫路周辺が少ない）
- 知名度があまりないこと
- 警察官主体



## 課題に対する解決策

- 活動場所に偏り（姫路周辺が少ない）  
↳ 活動範囲を広げ、参加しやすい場所！
- 知名度  
↳ SNS（X・Instagram）の活用を
- 警察官主体  
↳ 学生自身がより主体的・積極的に活動！



そして、我々ブルーフェニックス隊は活動を始めて1年と少しとまだまだ若輩の活動となっているのですが、その1年間を通じて課題が主に3つあると思いました。1つ目は、活動場所に偏りがあることです。神戸三宮という中心部には活動場所がたくさんあるのですが、少し岡山県寄りの姫路等々になってくると活動場所が少なく、姫路近辺の学生さんが参加しづらいといったことがありました。2つ目の知名度があまりないこと、これは1年目なので仕方ないことなのかなと思うところではあります。3つ目の警察官主体、これらが1年を通して思った課題です。

そして、幹部等学生で考えて3つの課題に対してどういう風に伸ばしていこうかと考えました。1つ目の活動場所に偏りがあることに関しては、神戸三宮以外にも姫路等々活動場所を広げれば、より防犯活動に参加してもらいやすくなるかと思っています。2つ目の知名度に関しては先ほど紹介がありました、SNSのX（旧ツイッター）、Instagram等で我々の行った活動を紹介しています。3つ目の警察官主体に関して、学生が去年よりもより積極的・主体的に活動をしていきたいと思っています。具体的に考えているのは、動画作成、演劇などをやっていきたいと思っています。



6月1日  
第2期  
総会



参加人数 125名

ご清聴ありがとうございました！



これが、つい1ヶ月ほど前に行われた第2期ブルーフェニックス隊総会の写真です。参加人数125人と書いてありますが少し増えまして192人に参加していただくことになりました。この新しく入ったメンバー等により一層活動をして兵庫県警の防犯の力の一助になればと思っています。

ご清聴ありがとうございました。